

# 「子宮頸がん予防ワクチンによる副反応の情報収集と自治体への情報提供及びその治療法の早急な開発を求める」意見書(案)



松原のりかず  
☎058-253-2500

## が否決に

### 市民の願い国へ届けない岐阜市議会に残念

岐阜市議会において、子宮頸がん予防ワクチン（普及推進）関連の意見書は市議会から国会及び関係行政庁宛に3回提出されています。1回目は、市議会公明党が提案され委員会発議となり平成20年6月議会で採択されています。以降平成22年6月議会、平成23年9月議会と国会及び関係行政庁へ提出しております。

当時は、先進医療としての予防部分のみが強調され、重篤な副反応（副作用）についての情報を聞く機会がありませんでした。しかしながら、現在はテレビ放送を通じて重篤な副反応についての情報に接するところとなりました。「早期の定期接種化」を求めた意見書を出した議会の議会人として、責任を感じるどころです。

重篤な副反応に対する対応について、議会としての意思表示をすることは議会人としての責務と考えます。（2016年3月議会本会議で、松原のりかず提案説明）

岐阜市議会無所属クラブから提案されましたが、賛成少数で否決に。

「副反応治療法の早急な開発を求める意見書」に賛成の議員7人、「意見書に賛成しなかった」議員30人。下記のとおり。（2016年3月議会）

**意見書に賛成、「治療法の早急な開発」を主張した議員7人**

松原のりかず 服部勝弘 田中成佳 高橋和江

堀田信夫 井深正美 原菜穂子

「子宮頸がん予防ワクチンによる副反応の情報収集と  
自治体への情報提供及びその治療法の早急な開発を求める」

**意見書（案）に反対した議員 30人**

富田耕二	郷 英明	渡辺貴郎	長屋千歳	黒田育宏	石川宗一郎
若山貴嗣	石井浩二	小堀将大	鷺見守昭	和田直也	谷藤錦司
大野一生	須賀敦士	杉山利夫	西垣信康	江崎洋子	松原和生
浅野裕司	丸山慎一	信田朝次	須田 眞	國井忠男	高橋 正
辻 孝子	山口力也	柳原 覚	西川 弘	渡辺 要	松岡文夫

※ 竹市 勲 は、議長で表決に加わらない。（敬称略）

子宮頸がん予防ワクチンによる副反応の情報収集と自治体への  
情報提供及びその治療法の早急な開発を求める意見書(案)

子宮頸がん予防ワクチンについては、定期の予防接種に位置付けられた後、重篤な副反応の問題が報道されるようになった。本来がん予防のためとされるワクチン接種が、健康な女性を苦しめる結果となっている事例の出現は重大であり、副反応に苦しむ患者や家族への救済を急がなければならない。

また、対応がおくれることは患者の救済はもちろんのこと、予防接種制度への信頼をも揺るがすことになる。

よって、国におかれては、下記事項について早期に実現するよう強く要望する。

記

- 1 国内における子宮頸がん予防ワクチンによる副反応患者の情報収集に努め、最新情報を自治体に提供すること。
- 2 副反応に対する治療法の早急な開発に努めること。
- 3 患者の救済に必要な処置をとること。

以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

岐 阜 市 議 会

国会及び関係行政庁宛